

第10回 特別講演会報告 会場を感動で包んだ、広沢流「教習所母校化計画」

理念経営で社員が輝く社員創り「広沢母校」

成果主義で感じた違和感

実父から完全に経営を任されたのは2004年のことでした。当時、社内には不協和音が流れ、幹部や将来有望と思われた社員が次々とやめていきました。入校生数は近隣校が伸びている中、当校だけが4年間で20%減。悩んだ末、組織をしっかりと作り、社員にやりがいのあるポストを与えれば、経営は立て直せると考えたのですが、社員はついてきませんでした。そこで2005年からは思い切った社内改革を敢行し、成果主義を導入。社員は休みの日も営業活動し、売り上げは伸びましたが、利益が思ったほどには出ませんでした。

そしてしまいには社員同士、お客様の取り合いになってしまいました。

お金を追う経営から心の経営へ

これではいけない。何かが違う…と感じ、2007年、「心の経営」へと方向転換をしたのです。この頃から社員研修もスタート。「お客様を喜ばせるにはどうしたらいいか」を一緒に考えてくれる幹部社員が育ち始めていました。会社をどうしていこうかと真剣に考えてくれる社員が育ってきたことは、私にとって大きな喜びでした。

そんな話し合いの中から、卒業生の座談会にサプライズでバースデーケーキを用意するなど、たくさんのアイデアが生まれました。

感動は人に与えることで得られる

2008年、それまで少しずつ始めていたイベントが大きな形になりました。73才まで勤めてくれた学科専門の指導員が退職することになり、お客様と一緒に、その指導員の卒業式を行ったのです。

その後、本人から「こんな幸せな指導員は日本中探しても他にいません」という感謝の手紙が届きました。その頃から「相手に感動を与えることで自分たちも感動できる」ということを体験し、感動というテーマに正面から取り組み始めました。そして業務とは関係なく、胸襟を開いて語り合う、自分が今まで体験した嬉しかったこと、感動したことを話し合う場を作っていたのです。

感動ミーティングと広沢母校化計画

そしてそこから「広沢を母校と思ってもらえるようにしたい」という

広沢自動車学校 代表取締役 祖川 康子

意見があがり、「広沢母校化計画」がスタートします。

母校と言えば卒業式だろうということになり、卒業式のセレモニーもこの頃、始めました。卒業式で流す映像には命の大切さ、そして交通事故をなくしたいという私たちの伝えたいメッセージが盛り込まれています。他にもバースデーサプライズやクリスマス、職員同士の結婚式の二次会を当校で開くなど、様々なイベントを行いました。こうして感動をキーワードにした当社の土台が完成していったのです。

お客様営業部隊の誕生

2009年、熱狂的なファンの中から、広沢の良さを伝えてもらうためのお客様営業部隊が誕生します。ちょうど教習生の間で「高校生最後の制服を着て広沢に集まろう」という話が持ち上がっている時でした。これをイベント化するのがお客様営業部隊の最初の仕事になりました。営業部隊のメンバーがイベントの企画を考え、リーダーが職員朝礼でプレゼンテーションをしてくれました。感動してお礼を言うと「このような場を与えていただいて、私たちの方こそありがとうございます」と逆にお礼を言われたことを今でもはっきり憶えています。このお客様営業部隊のメンバーは代々、お友達をたくさん紹介してくれています。

経営理念を「広沢母校」に

2009年6月、広沢母校化計画をそのまま、経営理念としました。

当校の強みはお客様と関わる力です。ひとりではなく、みんなで関わっていく社風です。世の中がどんなに変化しても、人との関わりがなくなることはありません。社員が関わる力を大切に、仕事に誇りを持って、幸せな生き方をしてくれることを願っています。



講演終了! ホットー息(ブログより)

満員御礼! 大盛況だった懇親会

講演終了後は名刺交換会。会場のあちこちで談笑の声が響き、引き続き懇親会へ。恒例のコヤマドライビングスクール長期研修生「轟会」メンバーによるクイズは、「日本初のタクシーはFORD」「3点シートベルトを開発したのはVOLVO」など、お勉強になる問題が…。そしてぶっちぎりの全問正解チームが現れ、1位の5,000円クオカードを10名がゲット。続く当社営業スタッフのユニットS2Kスマイルは、新曲『勝手にしやがれ』福山雅治バージョンをご披露。

白い帽子を小粋にかぶり、ちょっとクールなダンスに会場は大喝采! やや強制気味にいただいたアンコールの『祭り』でお開きとなりました。



特別講演会に参加して

北日本自動車学校 理事長 中条 充康

問題解決の糸口が見つかり、感謝です

今年6月、弊社理事長に就任し、現状をどのように打破すべきか暗中模索していた最中、特別講演会のことを伺い、正に私が聞きたい内容でしたので、即刻申し込みを致しました。祖川社長のご講演は示唆に富んでいて、自分も頑張れば今この問題を解決する糸口が見つけられると、希望が出てきました。心に残った言葉を記します。**1. 人生、無駄なことはない。2. お金の経営から心の経営へ。3. お客様に喜んでいただくことに喜びを感じる社員。4. 感動ミーティングの創造。5. 広沢母校の意義。6. 18歳の子の心に火を点けられるチャンス。7. 学生は実は孤独、どれだけ関われるか、どれだけ感動を与えられるかが大切。8. 指導員しかできない人はいない。9. あなたの存在はすばらしい。**一つ一つを実践していきたいと思えます。祖川社長ありがとうございました。

